学校番号	3001

令和２年度　環境緑化科

教科	農業	科目	造園技術	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「造園技術」　（文部科学省）						
副教材等	「造園施工必携」（日造連）「日本の庭園」（ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ）「都市の樹木 433」（文一総合出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業の造園や環境分野を中心に基礎から応用まで体験的な学習を行い、総合的な知識と技術を学ぶ科目です。造園や環境分野の運営と管理について理解を深めて、作業などを通して計画力や管理能力を陶冶して、造園や環境分野において改善を図る実践的に活躍できる能力を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

・造園の施工と管理に必要な知識と技術を習得する。
・造園の特質と造園緑化材料の特性を理解する。
・材料を適切に取り扱い、合理的に施工し維持管理する能力と態度を培う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・技能
観点の趣旨	造園における専門技術や造園施工管理に関心をもち、その改善･向上をめざして主体的に取組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	造園における専門技術と造園施工管理に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を基に、課題を適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	造園に関する基本的な技術を身に付け、造園施工や造園管理を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	造園における基礎的･基本的な知識を身に付け、造園施工や造園管理における知識や技術の体系を理解している。
評価方法	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価等	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価等	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価等	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	造園施工総合実習 造園管理総合実習	造園施工の知識と技術 造園管理の知識と技術	○ ○	 ○	○ 	○ ○	a:時季に応じた造園施工と管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた造園施工と管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた造園施工と管理について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた造園施工と管理について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価
2学期	造園施工総合実習 造園管理総合実習	造園施工の知識と技術 造園管理の知識と技術	○ ○	 ○	○ 	○ ○	a:時季に応じた造園施工と管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた造園施工と管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた造園施工と管理について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた造園施工と管理について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価
3学期	造園施工総合実習 造園管理総合実習	造園施工の知識と技術 造園管理の知識と技術	○ ○	 ○	○ 	○ ○	a:時季に応じた造園施工と管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた造園施工と管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた造園施工と管理について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた造園施工と管理について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。